学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究「高校世界史」　（山川出版社）						
副教材等	詳説世界史図録（第５版）　山川出版社						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本科目では社会的事象の歴史的な見方・考え方について知識を深めます。さらに授業を介して世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切に読みとる力の向上を目指します。
・授業での活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会のなかで歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明、議論することができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、以下のことを学習の到達目標とする。
⑴地理的条件や日本史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に着ける。
⑵意義や特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して考察し、歴史的な課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や説明し議論する力を養う。
⑶よりよい社会の実現を視野に、課題を探求しようとする態度を養うとともに、日本の歴史に対する認識を深めるだけでなく、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的条件や日本史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に着けている。	意義や特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史的な課題を把握したうえで、解決を視野に入れて構想したことをまとめ、説明でき、表現している。	よりよい社会の実現を視野に、歴史に見られる課題を主体的に追求し、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅲ部「産業革命と環太平洋革命」	・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立	a: 産業革命、アメリカ独立、フランス革命とナポレオン支配、中南米諸国の独立と環太平洋革命の特色や多様性を理解している。 b:産業革命、アメリカの独立と発展、フランス革命とナポレオンの支配、中南米諸国の独立について、多面的、多角的に考察し、改めてそれらを定義している。 C：現在の民主主義を作り上げるのにどのような影響を与えたのか話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済の在り方を主体的に探究している。	定期考査	単元シート プリント (ノート) 定期考査	単元シート プリント (ノート) 授業観察
	第Ⅲ部「イギリスの優位と欧米国民国家の形成」	・ウィーン体制と政治・社会の変動 ・ヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	a:ウィーン体制のもとで構築されたヨーロッパの国際秩序の性質とその崩壊の過程を理解している。列強体制が弱まった１９世紀後半の国際運動やヨーロッパの拡大について理解している。１９世紀後半のアメリカ合衆国の発展について理解している。多岐にわたる１９世紀の欧米文化を理解している。 b:ウィーン体制が１９世紀のヨーロッパに及ぼした影響、ヨーロッパの拡大、１９世紀のアメリカ合衆国の発展、１９世紀の欧米文化の特色を多面的・多角的に考察し、その歴史的意義を表現している。 c:欧米諸国が形成した国民国家は暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、よりよい社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。			

2学期	第Ⅲ部「アジア諸地域の動揺」	・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	a:西アジアと地中海周辺国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること。 b: ユーラシア、地中海周辺、西アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較する、関連づけるなどをして、読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕、牧畜、の意義など多面的・多角的に考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや、諸地域の歴史に関わる事象に着目し、諸地域の歴史的特質を読み解き，課題を見つけ、主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	単元シート プリント(ノート) 定期考査	単元シート プリント(ノート) 授業観察
	第Ⅲ部「帝国主義とアジアの民族運動」	・第二次産業革命と帝国主義 ・世界再分割と列強の対立 ・アジア諸国の変革と民族運動	a:帝国主義時代の社会、アフリカや太平洋地域の植民地化の状況と、植民地獲得を進める列強間の対立、アジア諸地域で展開した列強の進出に抵抗する民族運動と専制政治に反対する立憲運動の展開を理解している。 b:第二次産業革命が欧米に及ぼした影響、列強の植民地獲得と国内の諸問題、アフリカ、太平洋地域の植民地化、アジアの民族運動と列強への抵抗運動などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:欧米列強の帝国主義政策とアジア諸地域の民族運動を関連付けて追求し、何を明らかにできたか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。			

	第Ⅲ部「第一次世界大戦と世界の変容」	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動	a:第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響、戦後の状況を理解している。 b:１９世紀末から２０世紀初めの国際関係と、それを背景として起こった第一次世界大戦とロシア革命、民族運動を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:学習を振り返り、学習の支店や方法について確認し、次の章で学ぶ内容とのつながりを見出そうとしている。	定期考査	単元シート プリント(ノート) 定期考査	単元シート プリント(ノート) 授業観察
3学期	第Ⅲ部「第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成」	・世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成	a:世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊などをもとに、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容、戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど諸地域の変容を構造的に理解している。 b:世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦、新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している c:第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会についてより良い民主主義社会や経済の在り方を主体的に探究している。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度